

HIKVISION NVR

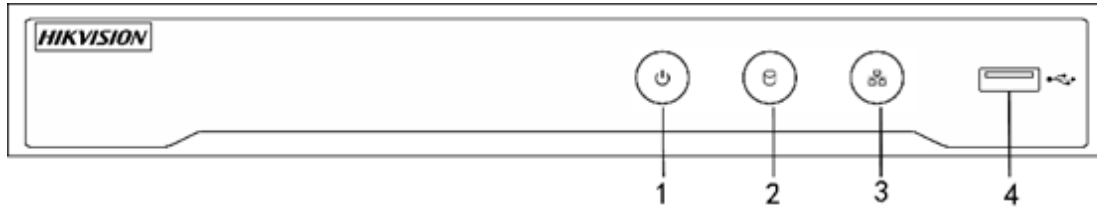
DS-7600NI-I2(P)シリーズ
セットアップガイド

目次

1. フロントパネル.....	3
2. 接続方法.....	3
3. 電源の ON/OFF.....	6
4. 初回起動時のパスワード設定.....	8
5. セットアップウィザード.....	10
6. 内蔵 PoE ポートを使用しない場合のカメラ登録方法.....	15
7. セットアップウィザード以外の設定項目.....	23
8. NVR ライブビュー操作方法.....	27
9. NVR 録画設定.....	32
10. NVR 再生方法.....	43
11. NVR 記録映像のエクスポート方法.....	47
12. GUID のエクスポートとパスワードリセット.....	51
13. 初期出荷状態の復元.....	56
14. Hik-Connect の設定.....	57

1. フロントパネル

1. フロントパネルの説明



[写真は、DS-7600NI-I2(P)シリーズ]

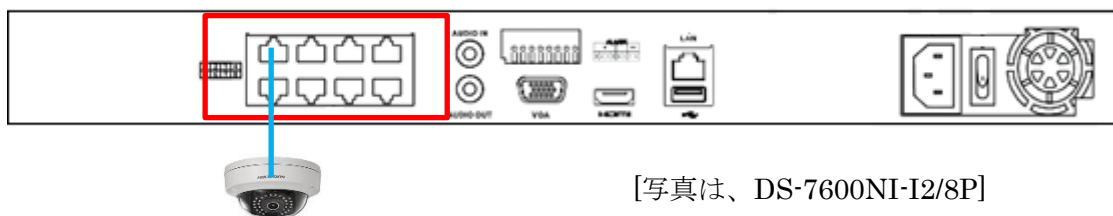
フロントパネルの説明

番号	インターフェース	説明
1	電源	NVR の電源が入っているとき緑色に点灯します。
2	HDD	HDD にデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤色で点滅します。
3	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。
4	USB インターフェイス	USB マウスやUSB ハードディスクドライブのような追加デバイス用の USB ポートです。

2. 接続方法

1. カメラとの接続

(1) 内蔵 PoE ポートを使用した接続



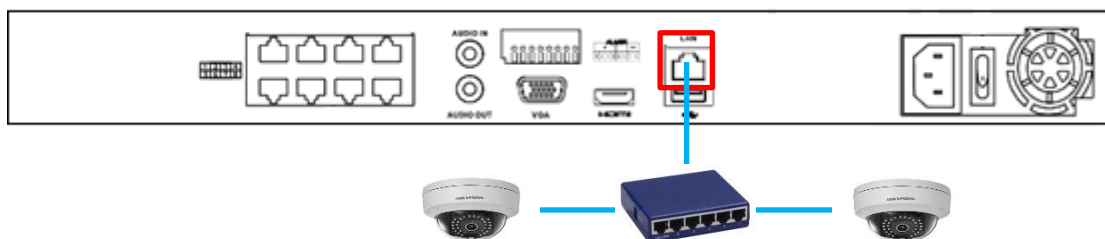
[写真は、DS-7600NI-I2/8P]

カメラと内蔵 PoE ポートを LAN ケーブル 1 本で 1 対 1 で直結します。

※ : LAN ケーブルの最大長は 100m 以内として下さい。

※ : このポートに HUB 等を接続しないで下さい。

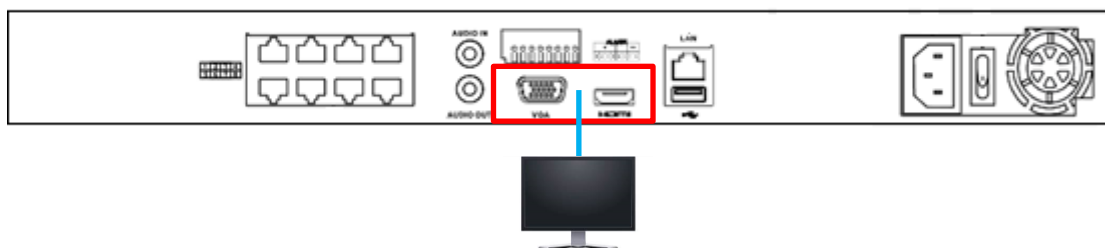
(2) 外部 PoE スイッチを使用した接続



レコーダーの LAN ポートから PoE スイッチ経由でカメラに接続します。この場合は、複数カメラを接続することが可能です。

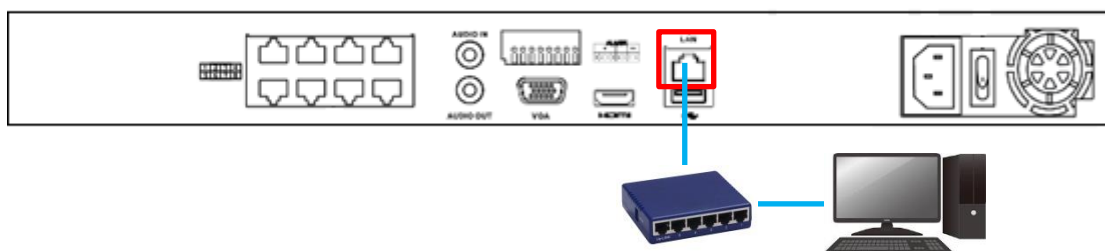
※：レコーダー～HUB 間は通常の LAN 接続ですが、HUB～カメラ間は PoE 給電が必要です。

2. モニターとの接続



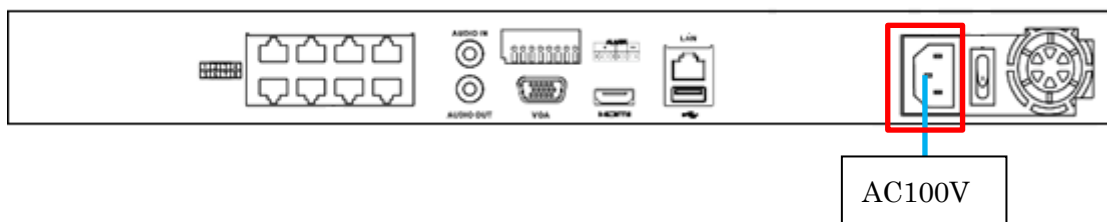
モニターとの接続は HDMI 又は VGA となります。排他使用となりますので、ご注意ください。

3. PC、上位 LAN との接続



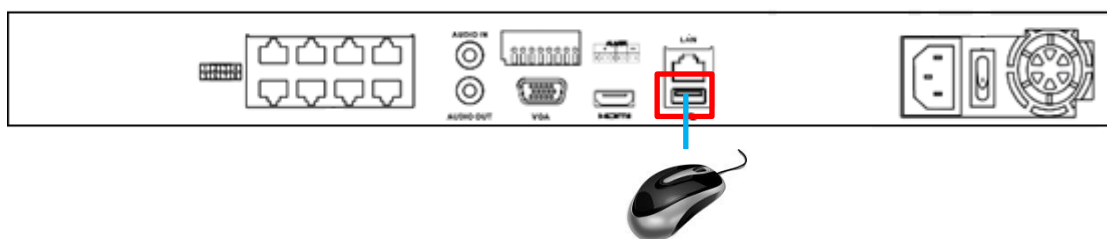
レコーダーの LAN ポートと PC を直接又は、HUB 経由で接続します。

4. 電源ケーブルの接続



付属の電源ケーブルを使用し、レコーダーに電源ケーブルを接続します。

5. マウスの接続



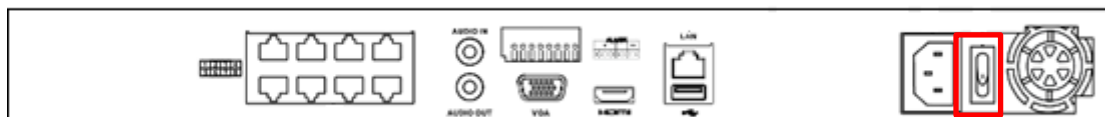
操作は全て付属のマウスで、行うことができます。

※：USB ポートは本体前面にもございますが、映像の取出しに USB メモリ等を接続するため、マウスは背面の USB ポートに接続することをお勧めいたします。

3. 電源の ON/OFF

1. 電源、起動操作

録画レコーダー本体の起動方法は、本体背面のスイッチを入れることによりシステムが起動されます。



2. 電源 停止操作

(1) メニュー画面より「シャットダウン」を選択します。



(2) 中央の「シャットダウン」を選択します。



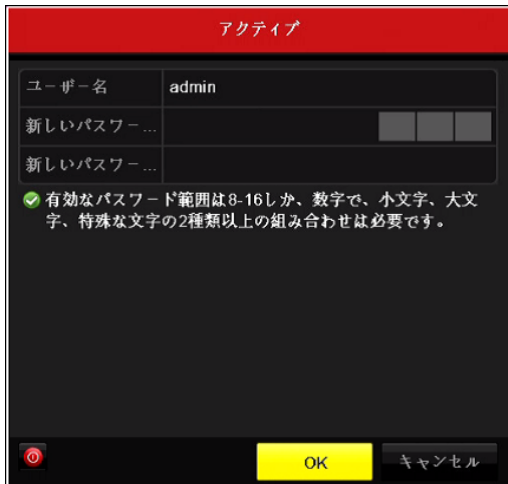
- (3) 「Yes」 を選択します。



- (4) 画面に「電源スイッチをお切り下さい。」と表示されたら本体背面のスイッチを OFF にします。

4. 初回起動時のパスワード設定

1. 初回起動時は下記画面が表示され NVR をアクティブにするためにユーザーが各自でパスワードを設定する必要があります(※:パスワードは忘れないようにご注意ください)。



2. パスワードは2度入力します。
パスワードは下記の要件を満たす必要があります。

- ・ 8文字以上 15文字以内

※: 数字、アルファベット小文字・大文字、特殊文字(ドット等)から2種類以上の組み合わせパスワードが適切なものであると、インジゲーターが緑色になり「強い」と表示されます。

「弱い」や「中」でも登録は可能ですが、セキュリティレベル向上のため「強い」パスワードを設定することをお勧めします。

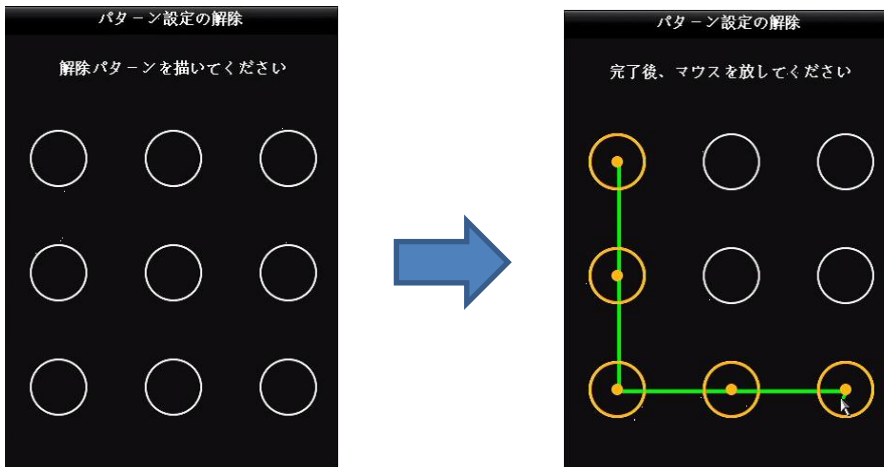


※: パスワードを8文字以上15文字以内に設定して下さい。

- 「OK」ボタンを押し、下の画面が表示されたらアクティベート完了です (The device is activated)。パスワードリセット用 GUID をエクスポートする場合は「Yes」を、後で行う場合は「No」を選択して下さい (GUID の詳細につきましては P.53 「2. 「GUID」によるパスワードリセット」を参照して下さい)。



- 次に解除パターンを設定します。マウスでクリック&ドロップしてパターンを決めて下さい (最低 4 点必要)。



- 確認の為もう一度同じパターンを設定して完了です。

※: パスワードと解除パターン及びパスワードリセット用 GUID のエクスポートは、メニュー>設定>ユーザー設定にて各ユーザーの編集でも操作可能です。



5. セットアップウィザード

1. システム言語を選択し、「適用」ボタンを選択します。



2. 起動時のセットアップウィザードの有り/無しを選択します。
次回の起動時からは表示させない場合は、チェックを外し、「次に」ボタンを選択して下さい。



- ログインパスワードを入力します。ウインドウを選択するとソフトキーボードが表示されますので、これを使ってパスワードを入力し、「次に」ボタンを選択します。
 パスワードを変更する場合は「新しい管理者パスワード」にチェックを入れると新しいパスワードが入力出来るようになります。
 必要に応じてパターン解除の有効化、解除パターンの変更、パスワードリセット用GUIDのエクスポートを行って下さい。
 ※：変更したパスワードは忘れない様にご注意下さい。
 ※：初回起動時のパスワード設定をした後、続けてセットアップウィザードに進んだ場合は表示されません。
 ※：「オペレーションパスワード」が無効になっている場合は表示されません。



ウィザード	
管理者パスワード	
新しい管理者パスワード	<input type="checkbox"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
確認	<input type="password"/>
パターン解除を有効化	<input checked="" type="checkbox"/>
解除パターンを描く	<input type="text"/>
Export GUID	<input type="text"/>
<p>✔ 有効なパスワード範囲は8-16しか、数字で、小文字、大文字、特殊な文字の2種類以上の組み合わせは必要です。</p>	
前に 次に 終了	

- タイムゾーン、時刻の設定を確認し、「次に」ボタンを選択します。
 タイムゾーン、時刻が誤っている場合は、こちらで修正して下さい。
 実際の画面内に表示される日付の形式も指定できます。
 YYYY=年、MM=月、DD=日



ウィザード	
タイムゾーン	(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌、ソウル
日付の表示形式	DD-MM-YYYY
システムの日付	26-12-2017
システム時間	17:15:49
前に 次に 終了	

5. ネットワーク情報を設定します。

上位 LAN や PC を接続しない場合はそのまま「次に」ボタンを押して下さい。

接続する場合は、“IPv4 アドレス”、“IPv4 サブネットマスク”を最低限入力して下さい。必要に応じて“IPv4 デフォルトゲートウェイ”や“DNS サーバ”を設定して下さい。

ウィザード	
NICタイプ	10M/100M/1000M 適応
DHCP有効	<input type="checkbox"/>
IPv4アドレス	192.168.10.77
IPv4サブネットマスク	255.255.255.0
IPv4デフォルトゲートウェイ	. . .
DNSサーバーアドレスを自...	<input type="checkbox"/>
優先DNSサーバ	
代替DNSサーバ	
内部NIC IPv4アドレス	192.168.254.1
<input type="button" value="前に"/> <input type="button" value="次に"/> <input type="button" value="終了"/>	

6. Hik-Connect の設定を確認し、「次に」ボタンを選択します。

使用しない場合はチェックを外して下さい（Hik-Connect の詳細につきましては P.57 「14. Hik-Connect の設定」を参照して下さい）。

ウィザード	
有効	<input type="checkbox"/>
アクセスタイプ	Hik-Connect
サーバアドレス	dev.hik-connect.com <input type="checkbox"/> カスタムビットレート
ストリーム暗号化有効	<input type="checkbox"/>
検証コード	
ステータス	オフライン
<input type="button" value="前に"/> <input type="button" value="次に"/> <input type="button" value="終了"/>	

7. ポートの設定を確認し、「次に」ボタンを選択します。



ウィザード	
サーバポート	8000
HTTPポート	80
RTSPポート	554
UPnP有効	<input type="checkbox"/>
DDNS有効	<input type="checkbox"/>
DDNSタイプ	DynDNS
エリア/国	カスタムビットレート
サーバアドレス	
デバイスドメインネーム	
ステータス	DDNS使用禁止
ユーザー名	
パスワード	

前に 次に 終了

8. HDD の初期化を行う場合はチェックをいれて、「初期化」ボタンを選択します。
初期化を行わない場合はそのまま「次に」ボタンを選択します。



ラベ...	容量	ステータス	プロパティ	タイプ	フリースペース
<input checked="" type="checkbox"/> 1	465.77GB	通常	R/W	ローカル	OMB

初期化

前に 次に 終了

9. IP カメラの追加設定を確認し、「次へ」ボタンを選択します。

※：NVR 背面の内蔵 PoE ポートを使用する場合は、このリストにカメラは表示されません。



10. 録画設定

録画方法を選択します。常時録画の場合は、「スケジュール録画」、動体検知録画の場合は「動体検知録画」ボタンを選択します。

全てのカメラに対して同じ設定を入力する場合は、表示される小ウインドウで「Yes」を選択して下さい。



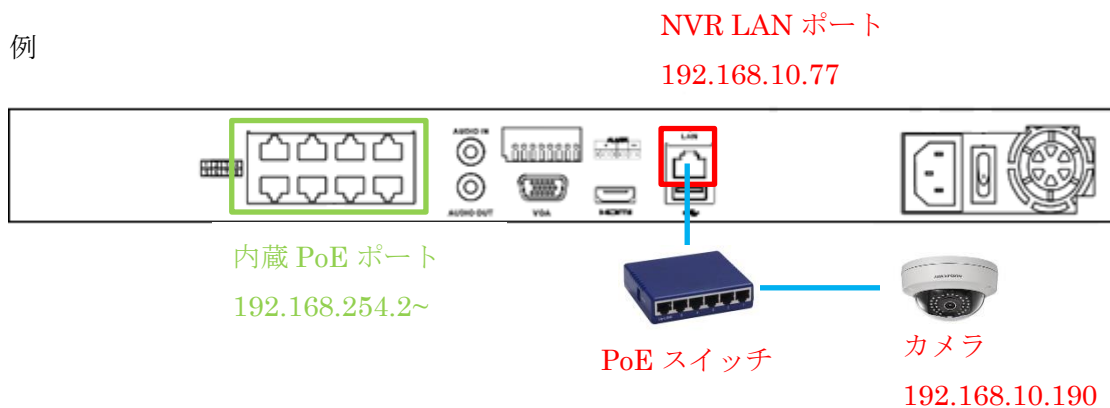
※：セットアップウィザードではカメラの解像度やフレームレート等の設定は出来ず、自動的にカメラの最高値に設定されます。必要な録画期間の映像を残すためには P.32 「1. 録画条件を設定します。」を参照して適切な設定を行って下さい。

6. 内蔵 PoE ポートを使用しない場合のカメラ登録方法

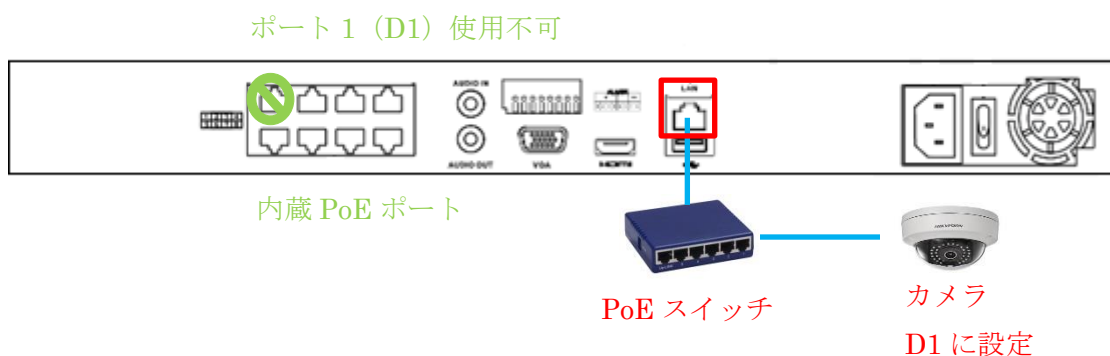
1. 概要

HikVision の NVR は背面の内蔵 PoE ポートにカメラを接続する構成とは別に、下記構成のように同一ネットワーク内の PoE スイッチに接続したカメラを登録することも可能です。

例



内蔵 PoE との混在も可能ですが、外部の PoE スイッチに接続されているカメラを登録したチャンネルに対応した内蔵 PoE ポートは使用できません (D1 に登録した場合は内蔵 PoE ポートの 1 は使用できません)。



2. カメラ登録方法

- (1) NVR のメニュー>設定>ネットワークにて、LAN ポートに固定 IP アドレスを割り当てる場合は設定を行い、DHCP で使用する場合は自動で割り当てられる IP アドレスを確認します。

(上記例では、NVR の IP アドレスは「192.168.10.77」に設定しています)



- (2) NVR と同じネットワークに接続する前に、カメラにブラウザで直接アクセス、もしくは SADP (HikVision のツール) でパスワード (カメラのアクティブ) と IP アドレス (NVR と同じセグメント) を設定します (※)。

(上記例では、カメラの IP アドレスは「192.168.10.190」)

※ : HikVision のカメラであれば、次項(3)のカメラ管理画面でも初期出荷状態のカメラに対してパスワード (カメラのアクティブ) と IP アドレスの変更を行う事は可能です (IP アドレスとサブネットマスクは変更できませんが、デフォルトゲートウェイはここでは変更できません。操作方法につきましては P.19 の「3. NVR でのカメラパスワード、IP アドレス設定」をご参照下さい)。

ただし、HikVision のカメラは初期出荷状態の場合 IP アドレスは全て「192.168.1.64」になっていますので、複数台を同時に接続するとネットワーク内で IP アドレスの重複が起こりますのでご注意ください。

また、初期出荷状態のカメラ複数台を同時に接続した状態で登録する場合は、シリアル番号を事前に控えておかないと、下記のように設定しているのがどのカメラなのか登録して映像を表示するまでわかりません。

未ア...	192.168.1.64		•HIKVISION DS-2CD2032-I	8000	550475726	V5.3.0b...
未ア...	192.168.1.64		•HIKVISION DS-2CD2032-I	8000	550475677	V5.3.0b...

上記より、複数台のカメラを登録する場合は事前に(2)の方法で設定することを推奨いたします。

- (3) カメラと NVR を同じネットワークに接続すると、NVR のメニュー>カメラにて下記の様に表示されます（下記の D1 はプラグアンドプレイ (※) で接続済み）。



※：カメラを内部 PoE ポートに接続すると自動的に IP アドレス等が設定され、その状態ではカメラのパラメータを編集できないことを示します。

- (4) 登録するカメラ No.（下記例では D2）の「編集」を選択します。



※：内蔵 PoE ポートが搭載されている NVR（DS-7608NI-I2/8P）の場合は、既にカメラ台数分のチャンネルリストが用意されているため（D1～D8 等）、リスト上の アイコンによる追加や右下の「ワンタッチ追加」「手で追加する」ボタンによるカメラの追加は出来ません。

- (5) メソッド追加を「プラグアンドプレイ」から「手動」に変更します。



- (6) 各項目が変更できるようになるので、IP アドレス欄に、カメラに設定されている IP アドレスを入力します。



- (7) 管理者パスワード欄にカメラに設定したパスワードを入力して「OK」ボタンを選択します。



(8) カメラが接続したことを確認して登録を完了します。



3. NVR でのカメラパスワード、IP アドレス設定

(1) 初期出荷状態のカメラを外部の PoE スイッチ経由で NVR に接続した場合、NVR のメニュー>カメラを開くと下記のように表示されます。「未アクティブ」の表示はカメラにパスワードが設定されていない事を表します。



- (2) 「未アクティブ」を押すとカメラのパスワードを設定する画面が表示されます。NVR と同じパスワードを設定する場合は「管理員パスワード使用」のチェックを入れて「OK」ボタンを選択します。



- (3) カメラにパスワードが設定されて表示が「アクティブ」に変わったことを確認します。



(4) 次に「編集」を選択するとカメラの IP アドレスとサブネットマスクを変更する画面が表示されます。

IP アドレス・サブネットマスクを変更し、管理者パスワードを入力してから「OK」ボタンを選択します。



(5) IP アドレスが変更されたことを確認します。



4. カメラパスワードの確認

- (1) メニュー上部の「IP チャンネルパスワード表示 (IP カメラのパスワードを表示)」チェックボックスにチェックを入れると権限確認画面が表示されて admin ユーザーのパスワードの入力を求められます。



- (2) パスワードを入力すると「セキュリティ」の項目だったところが「パスワード」に変わり、設定されているパスワードを表示・確認する事が出来ます (プラグアンドプレイで接続しているカメラは基本的に NVR と同じパスワードが設定されています)。



7. セットアップウィザード以外の設定項目

1. ライブビュー上で右クリックをします。



2. 上から二番目の「メニュー」を選択すると、パターン入力画面が表示されますのでドラッグで入力します。ここで右クリックするとログイン画面に切り替わるのでパスワード入力でログインする事も可能です。

※：管理者のほかにログイン ID を設定した場合は、プルダウンで ID を切り替えて下さい。

※：「オペレーションパスワード」が無効になっている場合は表示されません。



3. NVR のネットワーク設定方法

- (1) メニュー画面より「設定」を選択します。



- (2) 右側メニューの「ネットワーク」→「一般的なコントロール」を選択します。



- (3) デフォルトでは「DHCP 有効」にチェックが入っています。DHCP を利用しない場合はチェックを外して下さい。



- (4) IPアドレス・サブネットマスク等の手動設定を行って下さい。
 また、「内部NIC IPv4アドレス」とは、NVR背面の内蔵PoEポート側のIPアドレスになります。内蔵PoEポートにプラグアンドプレイでカメラをつないでいる場合、このセグメントのIPアドレスがカメラに付与されます。
 ※：NVR本体と内部NICを同一セグメントにすることはできません。



- (5) 設定が完了したら「適用」ボタンを選択します。

4. ライブビュー画面の設定

- (1) メニュー画面より「設定」を選択します。



- (2) 右側メニューの「ライブ表示」→「一般的なコントロール」を選択し、設定を行います。
- ① ビデオ出力を設定します。
 - ② ライブビューに表示するカメラ映像の表示形式を設定します。
 - ③ 「オートスイッチ開始」が有効になっている場合のカメラ映像の切り替え間隔を設定します。
 - ④ ライブビューモードで選択したカメラ映像の音声出力を有効化/無効化します。
 - ⑤ 音声出力の音量を調整します。
 - ⑥ イベントビデオを表示する出力を設定します。利用可能な場合、イベント発生時にビデオ出力インターフェイスから異なるビデオ出力を選択できます。
 - ⑦ アラームイベント画面を表示する時間です。



8. NVR ライブビュー操作方法

カメラを繋いだ状態で電源を入れると、自動的にライブビューの画面となります。

1. 簡易メニューの説明

ライブビュー上で右クリックをすると、簡易メニューが表示されます。

メニューから再生、録画の設定、分割画面の設定等さまざまな設定を行えます。



簡易メニューの説明

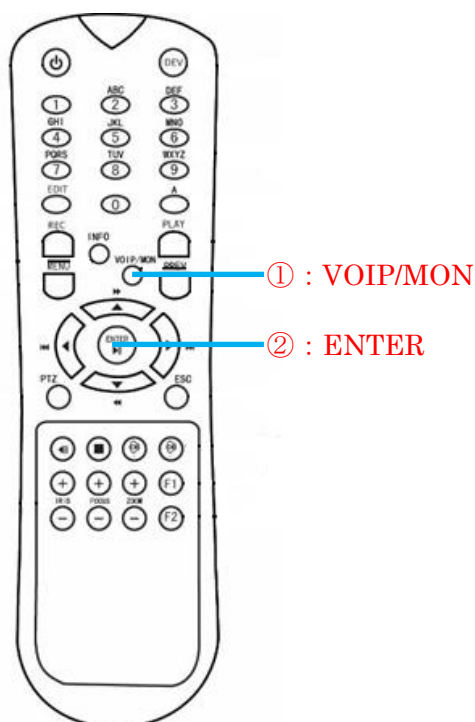
項目	説明
メニュー	よく使用する項目を表示します。
メニュー	メインメニューを表示します。
一画面表示	ドロップダウンリストから選択したカメラを全画面表示します。
分割表示	ドロップダウンリストからカメラの分割表示の変更を行います。
前画面	ひとつ前のカメラ No.のカメラを表示します。
次画面	ひとつ前のカメラ No.のカメラを表示します。
オートスイッチ開始	画面の自動切り替えを有効/無効にします。
録画開始	全てのカメラで終日通常録画や動体検知録画を開始します。
IP カメラ追加	自動及び手動で IP カメラを追加します。
再生	選択したカメラの再生を行います。
PTZ コントロール	カメラのパンチルトズームを操作します。
出力モード	標準、明るさ、飽和、鮮やかさの 4 つの映像モードを選択できます。
補助モニター	補助出力モードに切り替え、メイン出力の操作が無効になります。

補助モニターについて

NVR が出力インターフェースの接続を確認して、メインと補助の出力インターフェースを定義します。補助出力が有効化されている場合、メイン出力の操作は一切できず、補助出力のライブビューモードでの基本操作がいくつか可能となります。

メインと補助の優先度レベルは **HDMI > VGA > CVBS** となります。

※：補助出力が接続されていない状態で「補助モニター」を選択した場合、フロントパネルかレコーダー付属リモコンの **VOIP/MON** (①) を押した後に **ENTER** (②) を押して下さい。メイン出力に切り替わり、操作が可能となります。



2. クイック設定ツールバーの説明

各カメラの画面上で左クリックするとクイック設定のツールバーが表示されます。



クイック設定の説明

番号	説明
①	手動録画を有効にします。
②	簡易再生を行います。
③	オーディオ/ミュートの ON/OFF の切り替えを行います。
④	画像のキャプチャを行います。
⑤	PTZ コントロールを行います。
⑥	デジタルズームを行います。
⑦	画像の輝度、コントラスト、彩度、色彩の設定を行います。
⑧	顔検知を有効にします。
⑨	ライブビュー描写の優先を設定します。
⑩	チャンネル情報を表示します (フレームレート、ビットレート、解像度、コーデック)。
⑪	魚眼カメラのライブビューモードを切り替えます。
⑫	3D 位置決め ON/OFF を行います。
⑬	メインストリーム/サブストリームを切り替えます。
⑭	クイック設定を終了します。

3. デジタルズームの操作方法

(1) クイック設定のツールバーからデジタルズーム (⑥) を選択して下さい。

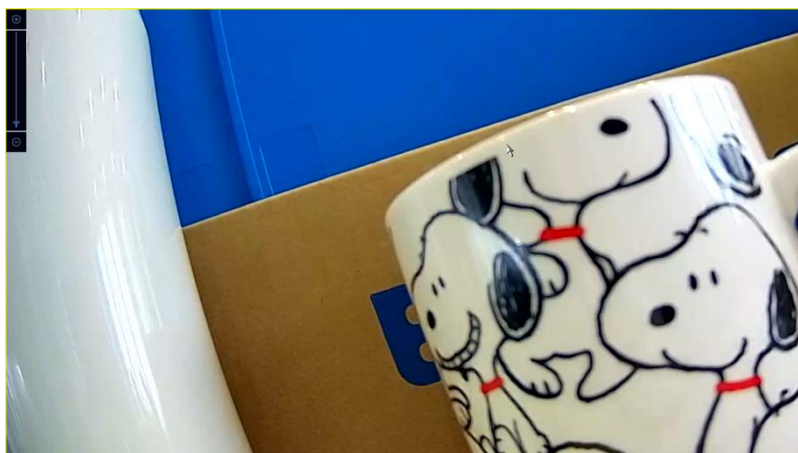
下記の画像のように画面が切り替わります。



- (2) デジタルズームしたい場所にカーソルを移動させ、マウスホイールを回すとズームします。



- (3) ズームした後で画面を移動する場合はドラッグで移動します。



9. NVR 録画設定

1. 録画条件を設定します。

(1) メニュー画面より「録画」を選択します。



(2) 「エンコードパラメータ」を選択します。



- (3) メインストリームの解像度、フレームレート等の設定を行います。
メインストリームは1画面のライブ表示の際に使用される映像です。
- ① 解像度の設定項目です。プルダウンにて選択して下さい。
 - ② 映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良くなりますがデータ量が増えます。
 - ③ フレームレート (秒当たりのコマ数)
※：一般的には1~10程度までを設定します。
 - ④ 最大ビットレートを指定します。秒当たりのデータ量の上限を設定します。一般的には、⑤の数値の範囲内に設定します。
 - ⑤ 最大ビットレート推奨範囲を表します。
 - ⑥ 動体検知やアラーム検知等の際の録画条件を設定します。特に使用しない場合は、「メインストリーム (スケジュール)」と同じ設定を入力して下さい。

入力が完了したら、「適用」ボタンを選択して下さい。設定が反映されると、「適用」ボタンが選択できなくなります。同様の設定を他のカメラにも適用するため、⑦でカメラを切り替えて下さい。

録画 Sub-Stream キャプチャ		
カメラ	⑦ [D1] Camera 01	
エンコーディングパラメータ	メインストリーム (スケジュール)	メインストリーム(イベント)
ストリームタイプ	ビデオ	ビデオ
解像度	① 1920*1080(1080P)	1920*1080(1080P)
ビットレートタイプ	可変	可変
画質	② 中	中
フレームレート	③ フルフレーム	フルフレーム ⑥
最大ビットレート方式	一般的なコントロール	一般的なコントロール
最大ビットレート (Kbps)	④ 1792	1792 ⑥
最大ビットレート 推奨範囲	⑤ 3840~6400(Kbps)	3840~6400(Kbps)
ビデオエンコード	H.264	H.264
H.264+を有効化	<input type="checkbox"/>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 詳細設定 適用 戻る </div>		

- (4) サブストリームの解像度、フレームレート等の設定を行います。
 サブストリームは分割画面のライブ表示の際に使用される映像です。画面上部の「Sub-Stream」を選択して下さい。
 その他はメインストリームと同じ要領で各カメラに設定して下さい。
 ※：各レコーダーによって異なりますが、フレームレートはメインストリームと同程度を設定して下さい。



※：メインストリーム、サブストリームとも、最大ビットレートの設定は注意して行って下さい。レコーダーのモデルにより、最大ビットレートの合計値の許容範囲が決まっており、これを超えて設定された場合、ライブ映像が表示されない等の症状が発生する場合があります。

※：最大ビットレートの範囲は、⑤「最大ビットレート推奨範囲」以下の設定も可能です。ただし、この設定を行った場合、データ容量は少なくなりますが、ブロックノイズ等が発生し、本来の解像度の効果を発揮できない可能性がありますので、ご注意ください。

(5) キャプチャの画質等の設定を行います。

画像キャプチャの設定です。画面上部の「キャプチャ」を選択して下さい。

- ① 解像度の設定項目です。プルダウンにて選択して下さい。
- ② 映像の圧縮の度合いを指定します。高くするほど圧縮率が低くなり、画質は良くなりますがデータ量が増えます。
- ③ 2つのキャプチャアクション間の時間を設定します。



(6) 詳細設定による高度な設定を行います。

- ① スケジュールされた時間やイベントの前に録画する時間を設定します。例えば、10:00 にアラームが録画を起動する場合、録画前時間を 5 秒に設定していると、カメラが 9:59:55 に録画を開始します。
- ② スケジュールされた時間やイベントの後に録画する時間を設定します。例えば、11:00 に録画起動アラームが終了する場合、録画後時間を 5 秒に設定していると、11:00:05 まで録画します。
- ③ 有効期限は録画ファイルを HDD に保管しておく最大時間で、期限が来ると、ファイルが削除されます。有効期限を 0 に設定すると、ファイルが削除されないようにできます。
- ④ 音声録音の有効化/無効化を設定します。
- ⑤ 録画をメインストリーム/サブストリームのどちらで行うかを設定します。サブストリームを選択すると、同じストレージ容量で、より長く録画できます。



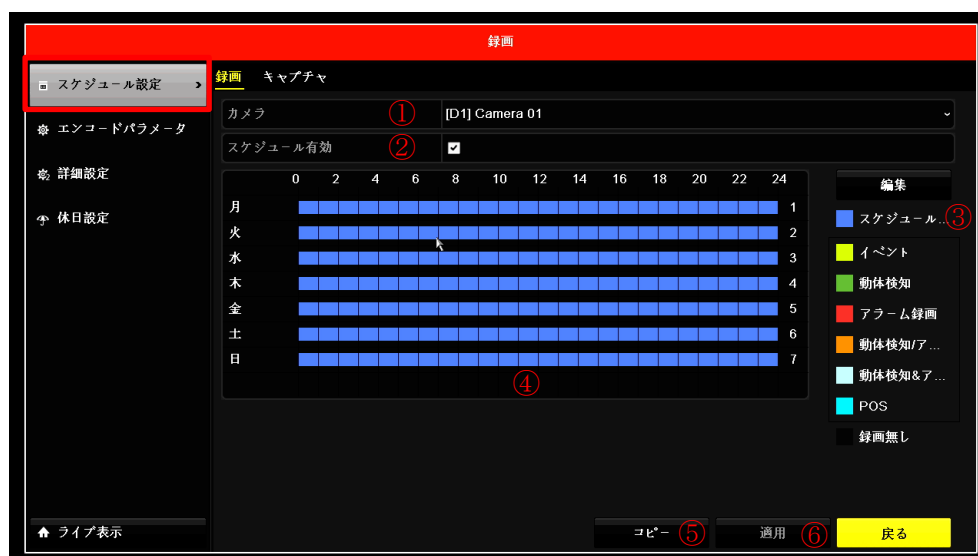
2. 録画スケジュールの設定

(1) メニュー画面より「録画」を選択します。

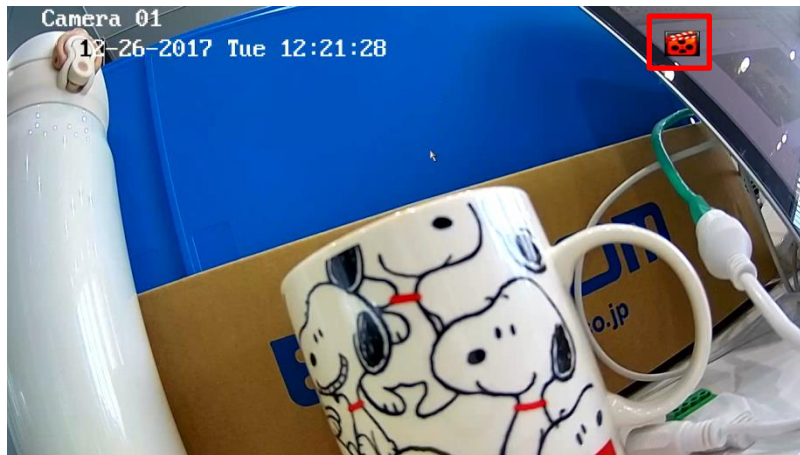


(2) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
- ③ スケジュール録画を選択します（矢印がペンの形に変わる）。
- ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
- ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」を選択します。
- ⑥ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



- (3) 録画が開始されると、画面右上に赤のカチンコマークが表示されます。



3. 動体検知の設定方法

- (1) メニュー画面より「カメラ」を選択します。



- (2) 「動体検知」画面にて設定を行います。
- ① 設定するカメラを選択します。
 - ② 「動体検知有効」にチェックします。
 - ③ 必要に応じて処理方式を設定します（動きを検知した際に NVR で音を鳴らす等の設定）。
 - ④ 感度を設定します（左側の感度が低く、右側が高い）。
 - ⑤ 検知範囲を全範囲に設定します（範囲を限定する場合はドラッグで指定します）。
 - ⑥ 検知範囲をクリアする場合に選択します。
 - ⑦ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



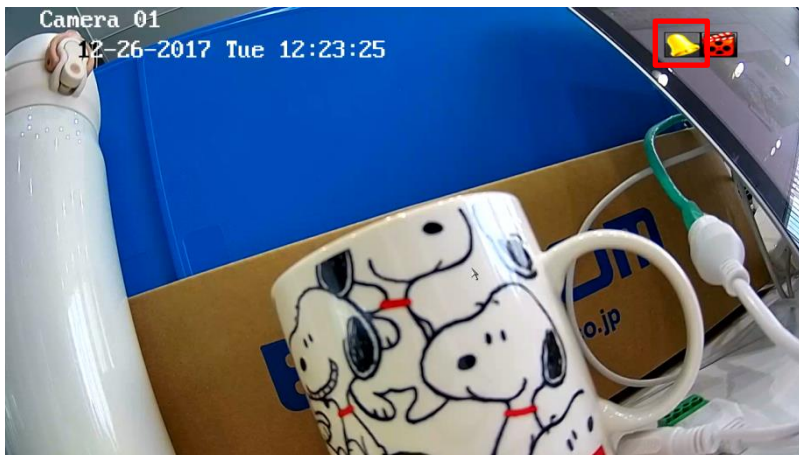
- (3) メニュー画面より「録画」を選択します。



- (4) 「スケジュール設定」画面にて設定を行います。
- ① 設定するカメラを選択します。
 - ② 「スケジュール有効」にチェックをします。
 - ③ 動体検知を選択します（矢印がペンの形に変わる）。
 - ④ スケジュール範囲をドラッグで指定します。
 - ⑤ 他のカメラに同じスケジュールを適用する場合は「コピー」を選択します。
 - ⑥ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



- (5) 動体検知などのイベントが発生した際に、画面右上に黄色いベルマークが表示されます。



4. カメラ名称の変更

- (1) メニュー画面より「カメラ」を選択します。



(2) 「OSD」画面にて設定を行います。

- ① 設定するカメラを選択します。
- ② カメラの名称を入力します（英数字）。
- ③ 日付、時刻、曜日、名称の表示を ON/OFF します。
- ④ 年月日と時刻の記載方法を選択します。
- ⑤ 文字の透明/不透明、点滅/点灯を選択します。これは画面上の文字を表示する際、見やすくするため、色を自動的に変える機能です。
- ⑥ 設定完了後、「適用」ボタンを選択します。



10. NVR 再生方法

1. 録画再生方法

- (1) ライブビュー上で右クリックをすると、簡易メニューが表示されます。
「再生」を選択します。



(2) 再生画面が表示されます。

チェックを入れたカメラが再生されます。
複数選択した場合は分割表示されます。

カレンダーを使って記録映像の検索ができます。
青がスケジュール録画（常時録画）で赤がイベント録画。（イベント録画がある日は全て赤色になります）

下記タイムバーの範囲を変更します。

チェックで通常再生と Smart 再生を切り替えます。

操作ツールバーの説明



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮



⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔



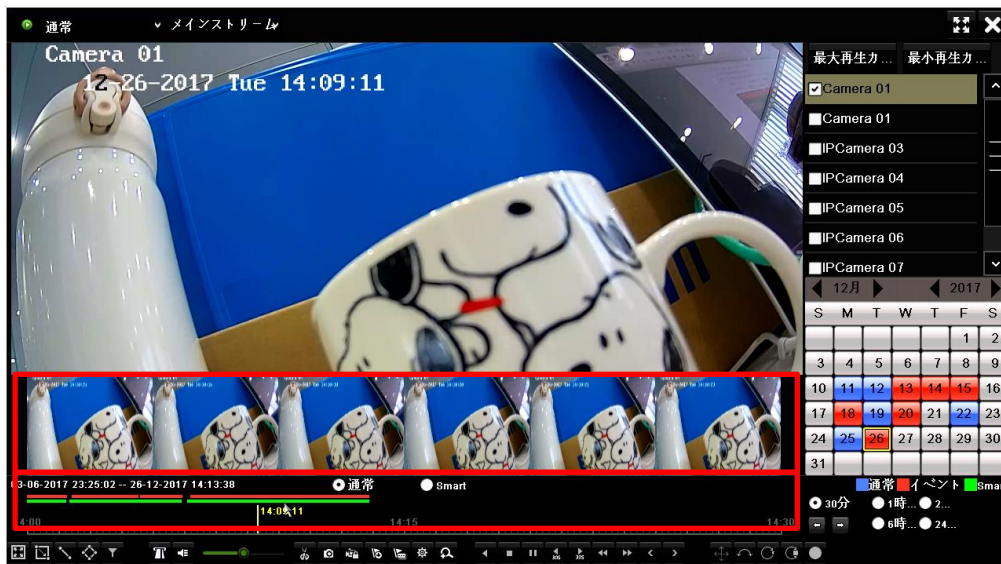
㉕

⑳

操作ツールバーの説明

番号	説明
①	動体検知をフルスクリーンに設定します。
②	侵入検知の長方形を設定します。
③	ラインクロス検知の線を設定します。
④	侵入検知の四角形を設定します。
⑤	対象の特徴を設定して映像のフィルタを行います。
⑥	POS オーバーレイの有効化/無効化を設定します。
⑦	音声ミュートの ON/OFF を設定します。
⑧	オーディオボリュームを設定します。
⑨	切り取りの開始/停止を行います。
⑩	キャプチャを行います。
⑪	ファイルのロックを行います。
⑫	デフォルトタグの追加を行います。
⑬	カスタムタグの追加を行います。
⑭	ビデオクリップ、キャプチャ画像、ロック済ファイル、タグのファイル管理を行います。
⑮	ズームインを行います。
⑯	逆再生/一時停止を行います。
⑰	停止を行います。
⑱	再生/一時停止を行います。
⑲	30 秒巻き戻しを行います。
⑳	30 秒早送りを行います。
㉑	再生速度のスピードダウンを行います。
㉒	再生速度のスピードアップを行います。
㉓	前日へ移動
㉔	翌日へ移動
㉕	魚眼カメラのライブビューモードを切り替えます。

- (3) 一画面再生中にタイムバーにカーソルを移動すると、再生画面下部にカーソル位置 5 秒間隔のサムネイルが表示されます。サムネイルを選択するとその時間に移動します。



11. NVR 記録映像のエクスポート方法

1. NVR 本体に USB メモリ・USB HDD 等のバックアップデバイスを差し込んで下さい。
※：USB 機器の対応フォーマットは FAT・FAT32・NTFS となります。exFAT は未対応です。
2. ライブビュー上で右クリックし、「メニュー（上から 2 番目）」を選択します。



3. メニュー画面より「エクスポート」を選択します。



4. エクスポートする対象のカメラを選択及び検索期間等を指定し「検索」ボタンを選択します。



5. 検索結果が表示されます。検索結果はチャートとリストで確認できます。
 エクスポートするファイルにチェックを入れ「エクスポート」ボタンを選択します。



6. エクスポートしたい映像の保存先を選択します。
 「エクスポート」を選択後、「映像とログ」にチェックを入れ、エクスポートして下さい。
 ※：フォルダを作成してエクスポートしたファイルを管理しやすくする事をお勧めします。



7. 映像ファイルは「mp4」形式でエクスポートされますので、「mp4」の動画ファイルを再生できるソフトで閲覧して下さい。

12. GUID のエクスポートとパスワードリセット

ログインユーザーのパスワード設定後に“GUID”というファイルをエクスポートしておくことでパスワードを忘れてしまった場合でも、このファイルをインポートすればユーザー側でパスワードの再登録を行うことができます。

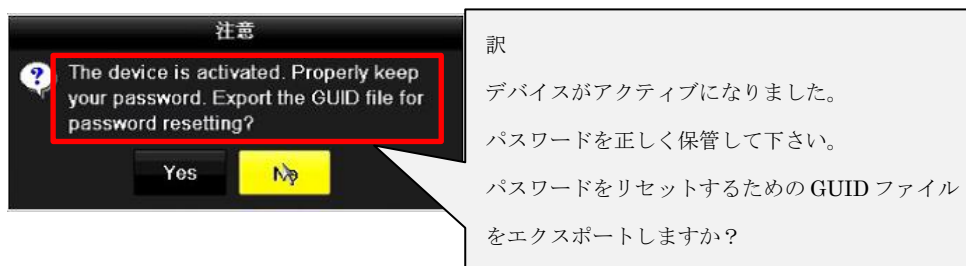
一度エクスポートした GUID はユーザーパスワードを変更するまで使用できます。パスワード変更後は新しい GUID をエクスポートして下さい（同じパスワードを再登録した場合でも古い GUID は使用できなくなるため、新しい GUID をエクスポートする必要があります）。

1. 「GUID」のエクスポート

「GUID」のエクスポートは下記の 3 通りで行えます。

(1) NVR 初期起動時のパスワード設定後にエクスポート

- ① GUID を保存するための USB メモリ等を NVR に差し込みます。
- ② 初期起動時にパスワードを設定して「OK」ボタンを選択すると、下記のメッセージが表示されるので「Yes」ボタンを選択します。



- ③ USB メモリ内でファイルの保存先を指定して「エクスポート」ボタンを選択します。



- ④ エクスポートが終わると下記メッセージが表示されるので「OK」ボタンを選択します。



- ⑤ GUID ファイルが出来ていることを確認します。



(2) 起動時のウィザードでエクスポート

「ウィザード有効」と「オペレーションパスワード」にチェックが入っている場合、NVR 再起動後に表示されるセットアップウィザードで GUID をエクスポートできます。管理者パスワードを入力してから“Export GUID”を選択します。

“Export GUID”を選択以降は、「1. NVR 初期起動時のパスワード設定後にエクスポート」と同様です。



(3) ユーザー設定でエクスポート

メニュー>設定>ユーザー設定を開き、GUID をエクスポートしたいユーザの編集を選択します。“現在のパスワード”を入力してから“Export GUID”を選択します。

“Export GUID”を選択以降は、「1. NVR 初期起動時のパスワード設定後にエクスポート」と同様です。



2. 「GUID」によるパスワードリセット

ログインパスワードを忘れた場合、USB メモリ等に保存した GUID を使用してパスワードリセット（パスワード再登録）を行うことができます。

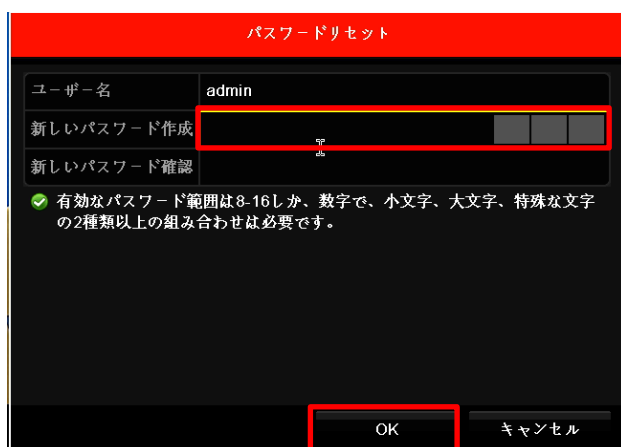
- ① GUID の保存されている USB メモリ等を NVR に差し込み、ログイン画面左下の“Forget Password”を選択します。



- ② USB メモリの中が表示されるので GUID を選択して「インポート」ボタンを選択します。



- ③ 新しいパスワードを設定できる画面が表示されるので、パスワードを設定して「OK」ボタンを選択します。



- ④ パスワードリセットを行ったので先程の GUID は使用できなくなったため、新しい GUID をエクスポートする事を促すメッセージが表示されますので、「OK」ボタンを選択します。



- ⑤ プラグアンドプレイや外部の PoE スイッチで接続されているカメラのパスワードを、変更した NVR のパスワードと同じにする旨のメッセージが表示されるので、「Yes」ボタンを選択します。

※：「No」ボタンを選択するとカメラは古いパスワード、NVR は新しいパスワードのため、プラグアンドプレイで接続出来なくなります（プラグアンドプレイでカメラに接続を行う際、レコーダーのパスワードがカメラのパスワードに自動的に割り振られるため）。



- ⑥ 以上でパスワードリセットは完了です。
※：忘れずに再度新しい GUID をエクスポートする事を強く推奨します。

13. 初期出荷状態の復元

1. 初期出荷状態の復元

(1) メニュー画面より「メンテナンス」を選択します。



(2) 「デフォルト」→「出荷状態回復」を選択します。



14. Hik-Connect の設定

Hik-Connect（以降、HC と記載する）とは、スマートフォンやタブレットでカメラ映像等を確認することができるアプリケーションです。

1. HC のアカウント登録方法

(1) モバイルアプリをインストールします。

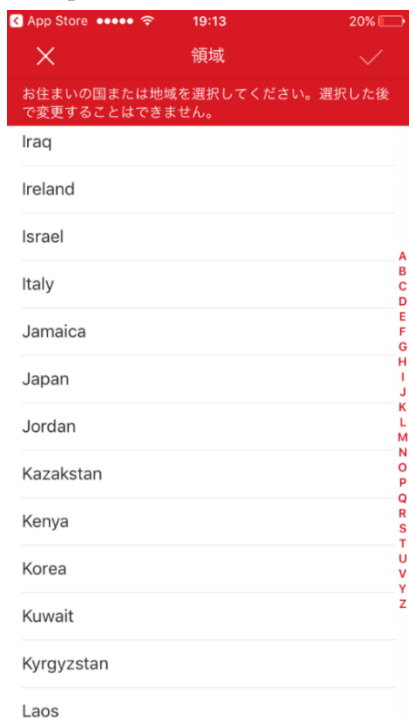
スマートフォン等で、アプリ名「Hik-Connect」をダウンロードして下さい。



(2) アプリを起動し、「国・地域を選択」を選択します。



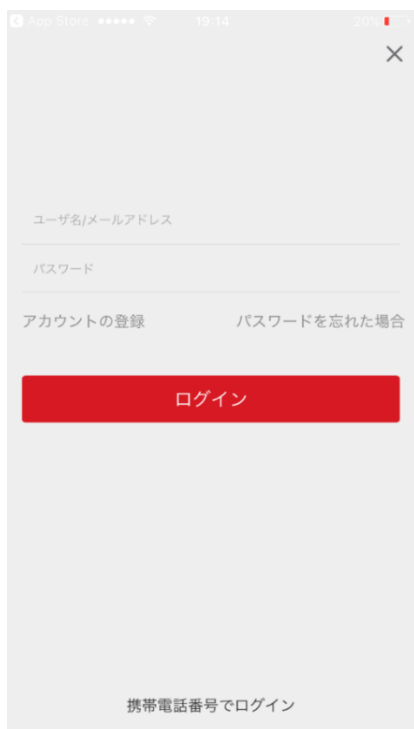
- (3) 「Japan」を選択し、右上のマークを選択します。



- (4) 「ログイン」を選択します。



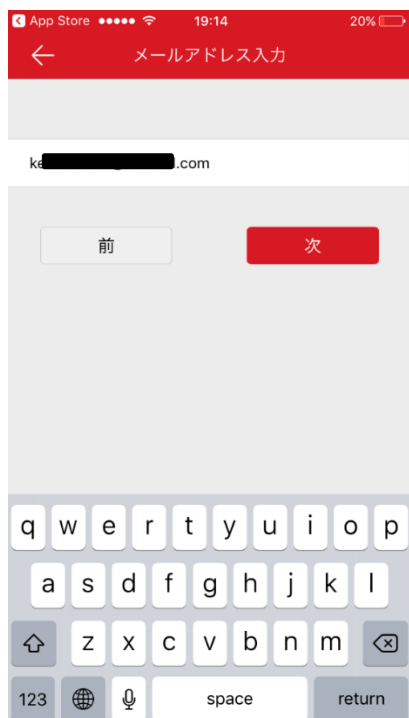
- (5) 新規にアカウントを作成するため、「アカウントの登録」を選択します。



- (6) 携帯電話番号で登録する場合は「携帯電話番号で登録」を選択します。
E メールアドレスで登録する場合は「E メールアドレスで登録」を選択します（以降の説明は「E メールアドレスで登録」を選択した場合の説明となります）。



(7) アカウントに使用するメールアドレスを入力し、「次」を選択します。



- (8) 登録したメールアドレスに認証コードが送信されますので、コードを確認して入力します。

※：30分以内に認証コードを入力して下さい。



送信メール内容

メール本文の“5695”の部分が認証コードになります。



【user information】 Verification code :5695, expires in 30 minutes.

- (9) アカウントに使用する「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。



- (10) 「終了」を選択すると、アカウント登録が完了します。

2. レコーダーの登録方法

- (1) 接続するレコーダーの設定を行います。

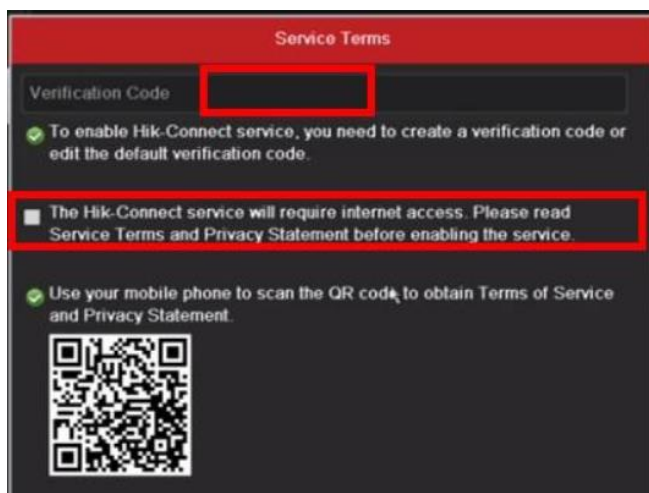
メニュー画面より「設定」を選択します。



- (2) 「ネットワーク」→「プラットフォームへのアクセス」を選択し、「有効」にチェックします。



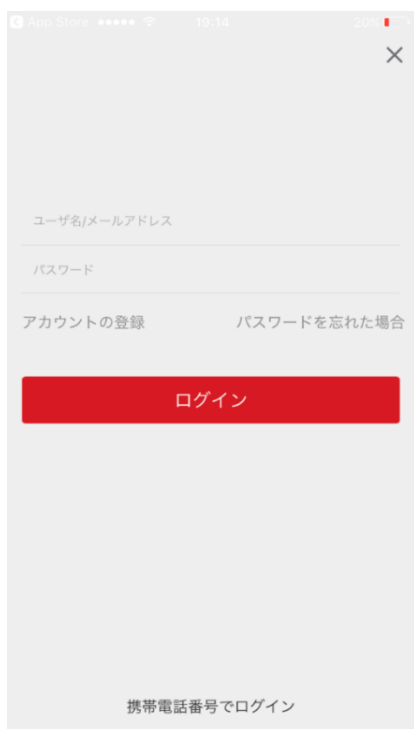
- (3) 「Verification Code」欄に、6文字～12文字の任意の番号を入力します。



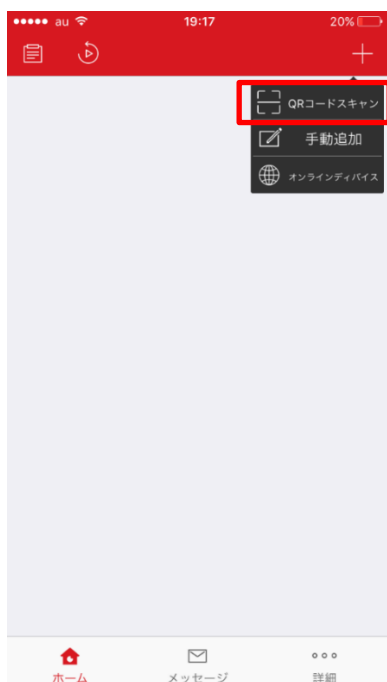
- (4) レコーダーの設定が有効になり、ステータスが「オンライン」になります。



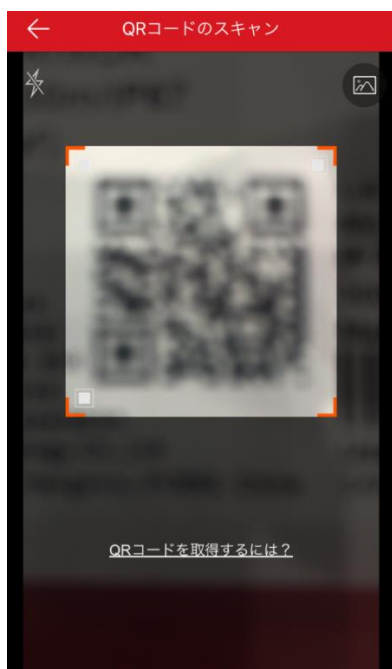
- (5) モバイルアプリを起動します。
 「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、ログインします。



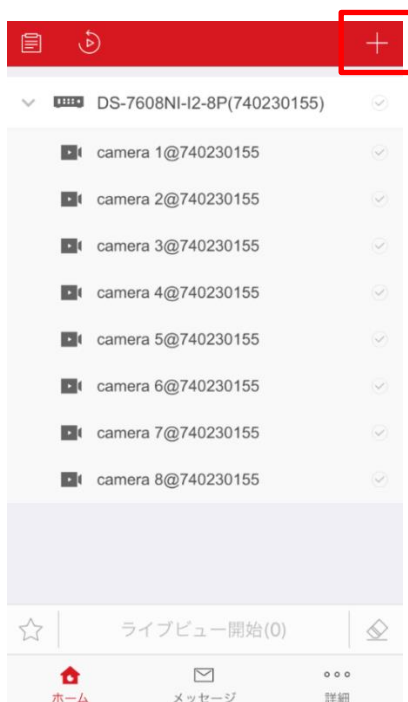
- (6) レコーダーを登録するため、**+**マークを選択し、「QR コードスキャン」を選択します。



- (7) レコーダー設定画面に表示されている QR コードを読み込んで下さい（レコーダー設定画面につきましては、(4)の画像を参照して下さい）。



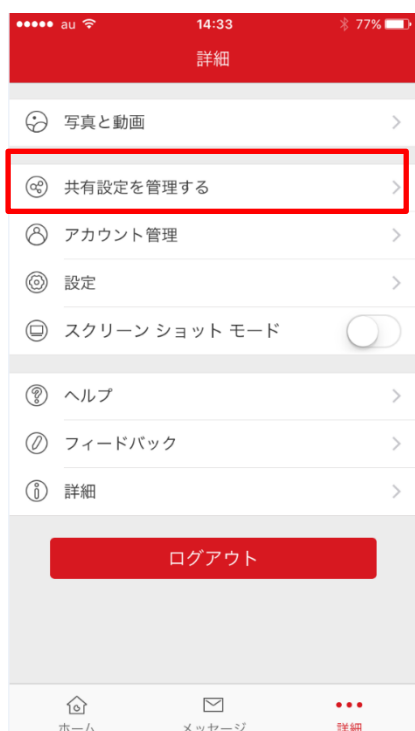
- (8) モバイルアプリにレコーダーが登録されます。
右側のチェックボックスをオンにするとアクセスを開始します。



- (9) これでレコーダーの登録が完了します。
 モバイルアプリの操作方法は別紙を参照して下さい。

3. レコーダーの共有設定（1台のレコーダーを複数のモバイルアプリで閲覧する場合）

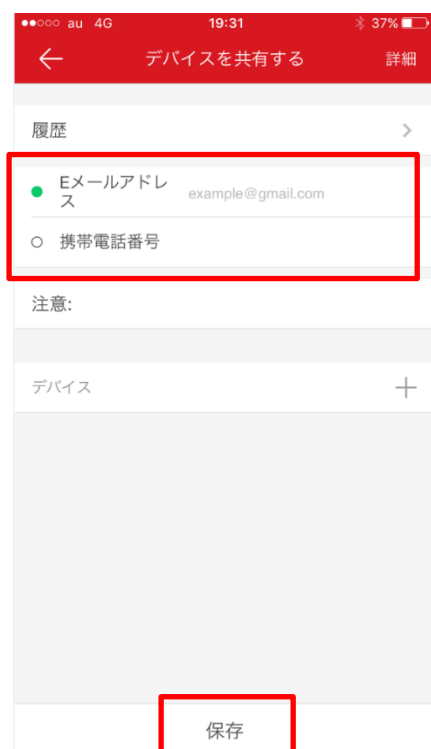
- (1) 最初に、レコーダーを共有するユーザ側の設定を行います。
 モバイルアプリを起動し、ホーム画面の「詳細」を選択します。
 表示された画面の「共有設定を管理する」を選択します。



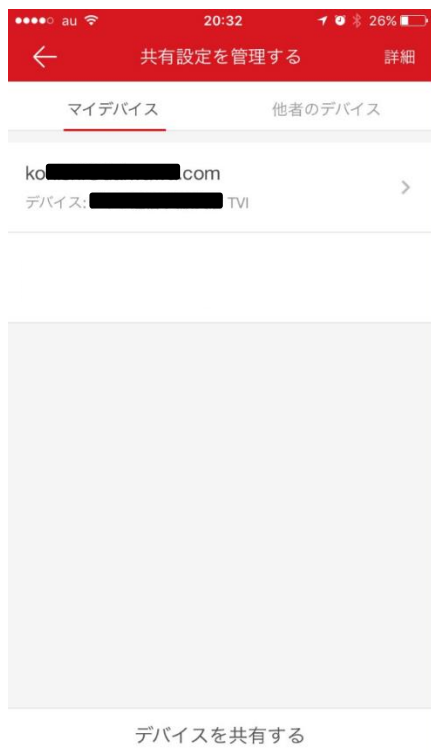
(2) 「デバイスを共有する」を選択します。



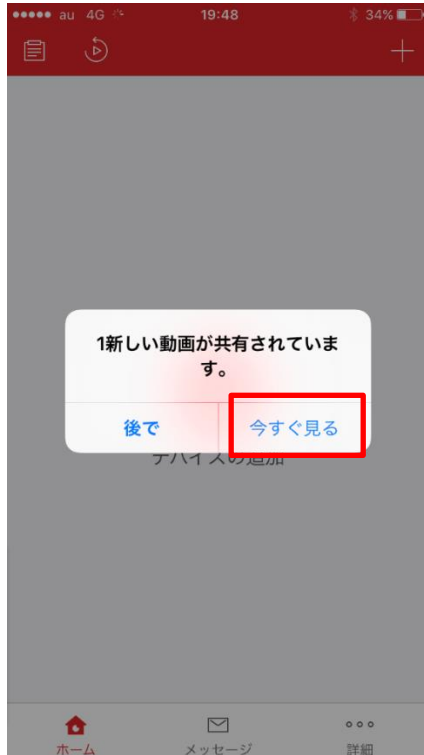
(3) 共有する相手の Hik-Connect のアカウントで利用しているメールアドレス、または携帯電話番号を入力し、「保存」を選択します。



(4) マイデバイスの欄に(3)で設定した相手の名前が表示されます。



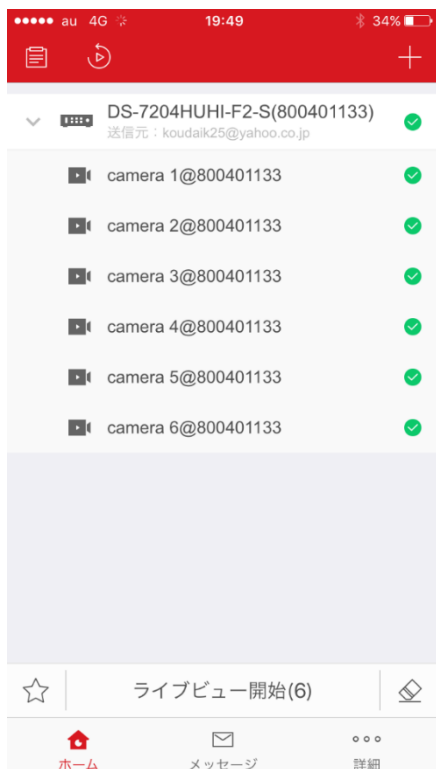
- (5) 次に、レコーダーを共有してもらったユーザ側の設定を行います。Hik-Connect にログインすると、共有されている旨のメッセージが表示されますので、「今すぐ見る」を選択します。



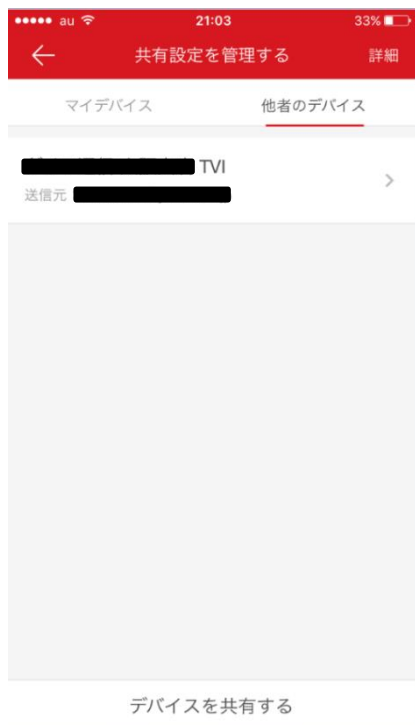
(6) 共有されているレコーダー名が表示されますので、「受諾」を選択します。



(7) これで共有完了です。ホーム画面にレコーダーが表示されます。



- (8) 「詳細」から「共有設定を管理する」を選択すると、共有されているレコーダー名が表示されます。



- (9) これでレコーダーの共有設定が完了です。

4. パスワードリセットの方法

HC のパスワードリセット方法は下記の 3 通りで行えます。

(1) HC のアカウントがメールアドレスの場合

- ① モバイルアプリを起動し、「パスワードを忘れた場合」を選択します。



携帯電話番号でログイン

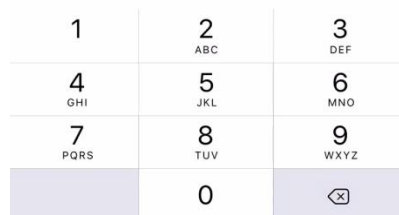
- ② 「ユーザ名/E メールアドレスによるリセット」を選択します。



- ③ 登録しているメールアドレスを入力し、「次」を選択します。



- ④ 認証コードがメールアドレスに送信されますので、その認証コードを入力し、「次」を選択します（認証コードにつきましては、P.61「1. HC のアカウント登録方法」の(8)を参考にしてください）。



- ⑤ 新しく設定したいパスワードを入力し、「送信」を選択します。



- ⑥ これでパスワードリセットは完了です。



(2) HC のアカウントがユーザ名の場合

①～②は(1) と同様の手順となります。

③ 登録しているユーザ名を入力し、「次」を選択します。

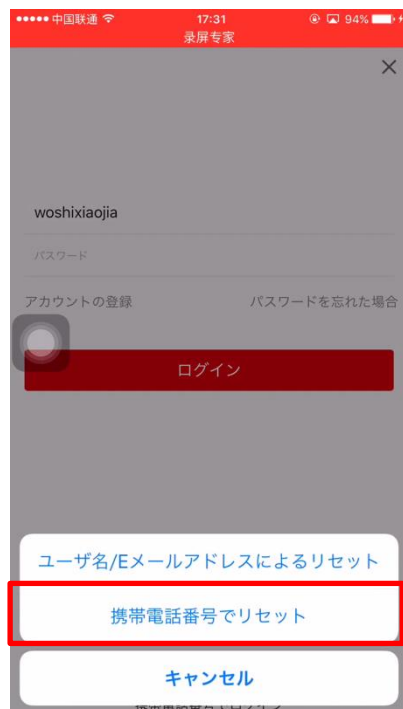


④～⑥は(1)と同様の手順となります。

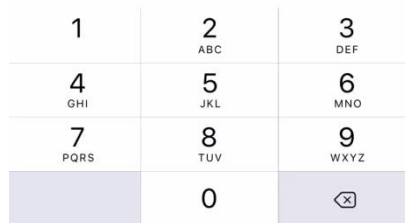
(3) HC のアカウントが携帯電話番号の場合

①は(1)と同様の手順となります。

② 「携帯電話番号でリセット」を選択します。



- ③ 認証コードが携帯電話に送信されますので、その認証コードを入力し、「次」を選択します。



- ④～⑤は(1)の⑤～⑥と同様の手順となります。